

News Release

2020年10月7日

日立オートモティブシステムズ株式会社

米国インディカー・シリーズ第12戦において、 日立契約ドライバーのジョセフ・ニューガーデン選手が今季3勝目

日立オートモティブシステムズ株式会社(プレジデント&CEO ブリス・コッホ/以下、日立オートモティブシステムズ)をはじめとする日立グループが、米国インディカー・シリーズでスポンサー契約を結んでいるペンスキーレーシングチーム所属のジョセフ・ニューガーデン選手は、米国インディアナ州インディアナポリスにある、インディアナポリス・モーター・スピードウェイのロードコースで10月2日(土)に開催された第12戦において、今季3勝目を果たしました。

インディアナポリス・モーター・スピードウェイのインフィールドセクションに設けられたロードコースは、全長約4.2kmのコースで、長いストレートと中高速コーナーから成るレイアウトで、迫力ある接近戦が見どころとなるレースコースです。

85周で争われる決勝において、2番手のグリッドからスタートしたジョセフ・ニューガーデン選手は、首位に立つ場面がありながら、追いつがるライバルたちをなかなか引き離すことができず、何度もトップを譲っては奪い返す激しい攻防を繰り返しました。しかし、レース終盤にさしかかり、ライバルたちのオーバランやピット作業のタイミングの隙をつきトップに立つと、67周目以降は他を寄せ付けない走りを見せ、そのまま85周を走り切り、見事今季3勝目を果たしました。

ダブルヘッダーとして翌日の10月3日(日)に同じコースで開催された第13戦では、予選の9位から4位でゴールし、年間チャンピオンシップで首位をいくチップ・ガナッシ・レーシング所属のスコット・ディクソンとのポイント差を32点に縮めました。

今回あらためて日立の技術が生かされたシボレーエンジンの速さに驚嘆をもって、今季中、日立ロゴを車体に配したレースでは幸運が続いていると語ったニューガーデン選手は、年間王者の座をかけ10月25日(日)開催予定の今季最終戦に日立ロゴの車体で臨みます。

日立オートモティブシステムズは今後も、インディカーレースをはじめとしたモータースポーツへのスポンサーシップを通じて、日立ブランドのさらなる浸透を図るとともに、モータースポーツの振興に貢献していきます。



トップを快走するジョセフ・ニューガーデン選手のマシン



今期3勝目を果たしたジョセフ・ニューガーデン選手(中央)

■会社概要

日立オートモティブシステムズ株式会社

本 社： 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル

事業内容： 自動車部品および産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

以上